

平成29年度（県南：小松島西勝浦・新野・阿南工業・富岡東高校）

『6次産業化プロデュース事業』連携活動報告



第2回連携活動：8月17日（木）の活動

場所
参加者

小松島西高校勝浦校
小松島西高校勝浦校生7名・阿南工業高校生7名
富岡東高校生4名 教員5名（各校より）

H29/9/25取材から



活動① スタチの収穫作業



スタチ園にて、スタチの収穫方法を学びました。



活動② 講義及び演習

講師・・・株式会社いんどり 谷健太氏・山田愛実氏

「商品開発の概要」

スナック菓子の「じゃがりこ」がなぜヒットしたのかを例に、商品開発をする際には、どの世代の顧客に向けて、また、食卓や出勤時等、どのような利用場面を想定して作るかが大事であることを学んだ。こうした商品開発のポイントを考えていくことにより、適切な商品パッケージの材質や容量、デザイン等が浮かび上がってくることを学んだ。



「ターゲットとコンセプトの設定」

グループワークでは、実際に「ゆこうジャム」の顧客及び利用場面をどこに設定するかを話し合い代表者が発表をした。



「デザイン概要」

いんどりのデザイナーである山田氏から、商品パッケージデザイン作りの手法について学んだ。同じジャム商品でも、包装紙等に掲載する「写真」「文字」「イラスト」などの要素により、商品の印象が決まるので、適切な商品の表現方法を考えなければならない。また、「タグ」等を使って商品の内容を表現する手法もあることを学んだ。